

「講演会及び施設見学会」「第 20 回総会及び講演会」

はじめに

道央技術士会の平成 22 年度後半の活動「施設見学会及び講演会」と道央技術士会設立 20 年の節目となりました「第 20 回道央技術士会総会及び講演会」について報告いたします。

1. 講演会及び施設見学会(参加者：14 名)

2011 年(平成 23 年) 2 月 9 日(水曜日)
開催場所：北海道立総合研究機構 栽培水産試験場
(室蘭市船見町 1 丁目 156-3)

〔1〕講演会

1) 講演 1 「栽培漁業技術開発の現状について」

講師：斉藤 節雄 氏

北海道立総合研究機構 栽培水産試験場
栽培技術部長

時間：13：30～14：15



北海道は、多くの水産資源に恵まれ、全国の漁業生産量の 4 分の 1 を生産する日本最大の生産地ですが、沿岸漁業が中心となった近年の漁獲量は減少し、有用魚種の生息環境も悪化しています。

栽培水産試験場は、種苗生産から放流・管理までの一貫した栽培漁業技術開発の拠点としての機能を

担っています。施設は、管理研究棟、親漁棟、量産棟、隔離飼育棟、貝類甲殻類棟などから成り、試験研究ギャラリー（展示室）等を見学できます。

主な栽培漁業対象種は、キツネメバル(マゾイ)・アカガレイ・マナマコなどです。

2) 講演 2 「室蘭市におけるクロソイをつくり育てる取り組み」

講師：杉本 頼昭 氏

室蘭市経済部 農水産課長

時間：14：15～15：00

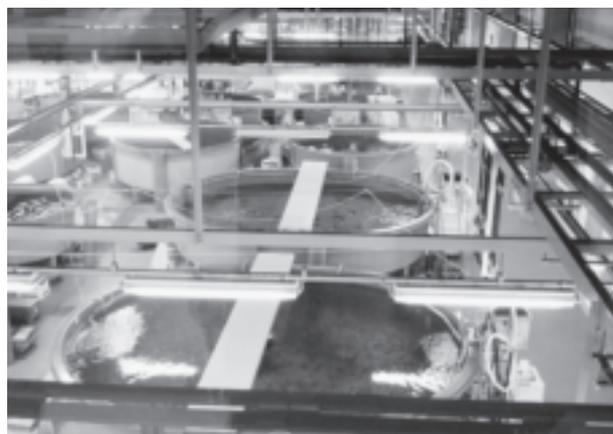
室蘭市では、追直漁港内にクロソイの養殖施設を設け、クロソイの養殖・販売拡大に取り組んでいます。

クロソイは主に、室蘭市、札幌市に出荷されています。

〔2〕施設見学会

開催場所：北海道立総合研究機構 栽培水産試験場
時間：15：00～15：30

見学窓からキツネメバルの大量飼育の様子を見学しました。巨大な水槽がいくつもあり、年齢ごとに飼育されていました。



2. 第20回道央技術士会総会及び講演会

(参加者：24名)

2011年(平成23年)4月22日(金曜日)

開催場所：ホテルサンルート室蘭 クリスタルの間
時間：18:00～20:00

今回は、記念すべき第20回の総会となりました。講演会では室蘭工業大学大学院工学研究科准教授の大平勇一氏(化学部門)に「浮力秤量法による粒径分布測定」という演題で講演をいただきました。

その後、総会に移り、道央技術士会(道央技術士協議会)設立当初からご尽力いただいた渡部富治氏(機械部門)と小針憲司氏(建設部門)に北海道支部より感謝状と記念品、道央技術士会より花束が贈られました。

〔1〕講演会 「浮力秤量法による粒径分布測定」

—粒径を浮力ではかる—

講師：大平勇一氏(化学部門)

室蘭工業大学大学院工学研究科 准教授

概要：浮力秤量法は沈降法の一つで、アルキメデスの原理を導入した新規な粒径分布測定法です。沈降天秤法は沈降皿に沈降する粒子質量から粒径分布を求めるのに対して、浮力秤量法は秤量棒に作用する浮力から粒径分布を求めます。沈降天秤法、比重計法、アンドレアゼンピペット法などJIS規格で定められた同じ沈降法に属する測定法と同等の精度で粒径分布を測定できます。測定装置は安価で自作可能だそうです。



左が大平先生です。

〔2〕総会

- ・北海道支部事務局長のあいさつ
日本技術士会 北海道支部 事務局長 大谷諭氏
- ・功労表彰 感謝状および花束贈呈
渡部富治氏(機械部門)
(T・WaveConsultingVolunteer)



小針憲司氏(建設部門)

(株式会社メイセイ・エンジニアリング)

- ・事務局からの連絡

「規約」の制定、年度行事予定、会員勧誘

〔3〕技術情報交換会

技術情報交換会では、異業種の方々との意見交換など活発な情報交換が行われた。

今年、技術士第二次試験に合格して新たに技術士になられたフレッシュな新規会員の紹介があり大いに盛り上がりました。

おわりに

今後も会の活動を通して、会員の親睦を深め、技術の研鑽・地域貢献に努めていきたいと思っております。

なお、7月22日(金)午後1時30分より新年度最初の施設見学会及び講演会を以下のように開催します。関心のある方はご参加ください。

施設：千歳市防災学習交流センター「そなえる」

講演会：「厚真町周辺の津波痕跡と地域防災」

厚真町教育委員会 乾 哲也氏

「東日本大震災における機械設備の被災状況」

道央技術士会 代表幹事 岸 明仁